



「宗像の再生が始動する」
節目の年に、豊かさとは
何か、考えます

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第28号

宗像の目指す豊かなまちとは？

古来、宗像は豊かなまちでした。神郡ゆえに年貢が安く、助け合いの精神が息づき、自然を崇拝してきました。災害も少なく、生きることに余裕があったから宗像人は優しく謙虚な性格になったのでは、と感じます。自然と調和し、人と共存してきた特性を活かし、経済的豊かさと精神的豊かさを両立したまちのイメージは、現代社会に共感を得ると考えます。

市は「稼ぐ力」を強化するため、団地再生や駅周辺への民間活力の導入、投資に取り組めます。

JR東郷駅宗像大社口周辺はハード面の整備が終り、今後、平井10号線と宗像福間線の接続、村山田地区の睦町村山田線のアンダーパスにより利便性が上がります。

土地の有効利用が出来るように、地域住民と行政はビジョンを共有して、企業の投資を誘導する仕組みを作り、まちの魅力を創出すべきと考えます。

日の里団地の東街区再生事業は、地域課題を解決するため企業・地域住民・行政が連携したプラス思考のまちづくりを「日の里モデル」としてすすめていきます。

東街区周辺の久原では「神泉プロジェクト」というエリアマネジメント（地域にかかわる様々な主体が地域の魅力向上に取り組む活動）が始まりました。ユリックス、許斐山まで緑が連々とつながる特徴を一体的に捉え、団地再生のブランディングとすべきだと考えます。

地域課題を住民・企業・行政がワンチームで解決し、価値観に共感して人が集まり生きる。そんな豊かなまちを目指します。



神泉プロジェクト

久原・貴船神社の神池で平清水の由来となった湧水が枯渇しました。貴重な資源である水の再生により地域を活性化する「神泉プロジェクト」。井戸を掘り、湧水の水汲み場をつくり、イベントを開催する計画でしたが、コロナ禍により延期。いま出来ることを、と池底の泥さらいしたところ、湧水が復活しました！今後の経過を見ながら東街区の再生に連動します。

宗像の目指すこころの豊かさとは？

共に生きる教育都市に

宗像には江戸時代から収入に応じた玄米を納めることにより医療を受けることのできる互助医療、国民健康保険制度の創設の手本となる定礼という制度が連綿と続き、人々が助け合う素地がありました。

現代は子ども達の個性や特性を大切にする教育が求められています。令和7年に県立特別支援学校が福岡教育大学敷地内に開校され、福教大との教育の連携により、特別支援教育の充実と波及効果が期待されます。

福祉面では、市民のボランティア活動なども含め先進的です。障がい者福祉施設の介護職員人員確保、農福連携、理解啓発などの施策を一体的に推進することで、こころの豊かさに共感し、人が移り住み企業が創業する優しいまちづくりを目指すべきだと考えます。

グローバル人材の育成を

国境が無くなるグローバル化が急速に進み、社会の大変革期を生き抜く力が必要とされています。宗像の豊かな地域・人材資源を活用したグローバル人材育成プランは第1期の5年間で終了しました。

第2期はライフステージごとに事業を位置づけ、学校教育や地域・民間企業と連携した体験活動事業を展開、将来の宗像を担う人材を育成する、とあります。

独自性のある事業ですので、広く情報発信を行い、共感を得る必要があります。

グローバル人材が育つのは時間がかかりますが、みんなで理解を深め、豊かに育て、世界に羽ばたいて欲しいと思います。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

コロナ禍での活動

会派・志政クラブとして、ウイルス早期結集と共に、将来を見据えた対応を行い、宗像市民の安心と安全を守るために「新型コロナウイルス感染症への対応に関する要望」を提出しました。4月に提出した要望書はその後のコロナ支援対策として数多く実現しています。

- 1人親家庭への細やかな支援を …… 宗像市ひとり親世帯応援金(約2千万円)
- ICTの活用、オンライン授業の環境整備や教育コンテンツの整備を …… 学びを保障するICT環境整備(約9億円)
- 児童生徒への心のケアの相談体制整備を …… 児童生徒の心理的負担軽減のための子ども相談事業の拡充(約2百万円)
- 学校再開時に消毒液などの物資の確保を …… 小中学校・公共施設等における感染症対策経費(約1千万円)
- 医療介護従事者が安心して事業に取り組める環境のため、マスク、消毒液等の支給を …… 高齢者施設・障害者施設等への特別支援金の給付(約3千万円)
- 宿泊事業者への支援を …… 宿泊事業者が行う感染防止対策への補助(約5百万円)
宿泊、飲食店舗の支援者に対し、店舗で使用できる応援チケットの発行(約3千万)

また、市民の声をいち早く届け、宗像市小規模事業者緊急支援金の増額補正(約1.5億円)につなげました。



吉田ごう
宗像市議会議員

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社

平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現 在 宗像市久原に在住
宗像市監査委員
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長